

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	社員も会社も地域も「健幸」になる！健康経営トライアル事業
事業主体 (連絡先)	伊那商工会議所女子会プロジェクト
事業区分	保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	877,704円 (うち支援金：702,000円)

事業内容

○健康経営優良法人認定制度の必要性や申請方法のセミナーと同時に、昨年考案した「業種別仕事の効率が上がる3分ストレッチ」を組み合わせ、より健意識を向けやすいセミナーを2回開催。

○従業員や地域の住民に健康であることの素晴らしさや体を動かすことの楽しさを知ってもらうために、大芝高原セラピーロードでウォーキングイベントを去年に引き続き開催。

○信州ACEプロジェクトと連携し、「協会けんぽウォーク」への参加を周知し、健康で気軽に楽しめることをPRする。

(活動写真)



【健幸ウォーキング】

【目標・ねらい】

- ①「健康経営」の周知と、取組者数の増加
- ②「協会けんぽウォーク」の周知と利用数増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

○健康経営の意識づけへの充実したセミナー開催等の開催により、「健康づくりチャレンジ宣言」企業10社→26社「健康経営優良法人2020認定」企業7社14社となった。

○地域、会社など70名近くの参加者が集まり、講師への満足度も80%以上と高かった。「定期的にやってほしい。」「来年もやって欲しい。」との要望が多かった。

○信州ACEプロジェクトと連携し、「協会けんぽウォーク」への参加をセミナーや会報等でPRしたことにより多くの事業所へ周知できた。

※自己評価【A】

【理由】

「健康づくりチャレンジ宣言」「健康経営優良法人2020認定」の取得企業の大幅な増。新規企業所への周知につながった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

○「健康経営」の取り組みと効果について地域の企業への更なる周知と「健康づくりチャレンジ宣言」「健康経営優良法人2020認定」の取得企業の増。

○「健康経営優良法人2020認定」の取得企業へのインセンティブについての検討と要望

○「健康づくり」について地域の人々への周知

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある